《上下水道部 令和3年度予算見積方針》

部内マネジメント責任者

部長 打田 敏之

総括副部長 奥山 敏樹

副部長 平尾 聡

副部長 島田 恭

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

- ◆安心・安全で安定した水の供給に努めます。
 - ・「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、適切な上水道施設の整備や維持管理を行います。
 - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的な施設の更新・災害対策に取組みます。
- ◆下水道を通じ、豊かな琵琶湖の自然を守り、快適な暮らしを支えます。
 - ・下水道施設の適切な維持管理を行い、汚水の適正処理に努めます。
 - ・下水道整備も概成し、今後、未水洗化世帯の下水道への早期接続を促し、水洗化率の向上に努めます。
 - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的な施設の更新・災害対策に取組みます。

【重点事項】

- ◆草津市水道ビジョン他・下水道事業経営計画策定費
上下水道事業を取り巻く環境の変化や今後の事業の課題に対応し、安定した経営状況を維持していくため、水道ビジョンおよび上下水道事業経営計画の中期計画を策定します。
- ◆水道管路更新事業
水道ビジョンに基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所にいたる管」の更新による耐震化を優先的に進めます。
- ◆浄水場施設整備事業
浄水場における経年劣化した施設・設備の更新、耐震化、浸水対策を行います。
- ◆下水道施設整備事業
下水道施設の耐震化を進めます。

【健幸都市づくりの推進に向けた考え方、主な事業】

- 上下水道部は、健幸都市基本計画の基本方針の一つである「まちの健幸づくり」の推進に向けて、下記事業を実施します。
- ◆「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、上水道施設の整備更新・耐震化や適切な維持管理を行います。
 - ◆公衆衛生向上のため、下水道の整備・耐震化を進めるとともに、未接続の世帯や事業所に対して下水道への早期接続を促します。

【見 積】令和3年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和2年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	28,125	25	水道事業については、施設の更新や災害に強い施設づくりに、下水道事業については、管路の耐震化対策に向けた取り組みに重点を置いた予算編成を行いました。
上下水道総務課(下水道事業)	1,286,186	1,286,186	
上下水道施設課	2,784	2,784	
合 計	1,317,095	1,288,995	

【前年度】令和2年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	4,773	173	
上下水道総務課(下水道事業)	1,395,055	1,333,055	
上下水道施設課	2,845	2,845	
合 計	1,402,673	1,336,073	

【増 減】(【見積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
上下水道総務課(水道事業)	23,352	▲ 148	水道事業における歳出総額の増については、耐震化や浸水対策などの事業費が増加したことによるものです。また、一般財源が減少しているのは、一般会計の負担となる配水池整備時の消火水量増加分に係る企業債償還利息が減少しているためです。 下水道事業における歳出総額の減については、一般会計繰出金の対象となる元利償還金の償還額が減少傾向にあることから、歳出総額が減少しているためです。
上下水道総務課(下水道事業)	▲ 108,869	▲ 46,869	
上下水道施設課	▲ 61	▲ 61	
	0	0	
	0	0	
合 計	▲ 85,578	▲ 47,078	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般財源		事業概要
配水管更新事業	417,213	0	0	水道ビジョンに基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所にいたる管」の更新による耐震化を優先的に進めます。
浄水場施設整備事業	299,946	0	0	両浄水場における経年劣化した施設・設備の更新、耐震補強、浸水対策を行います。
公共下水道整備事業(汚水)	337,107	0	0	下水道施設の耐震化を進めます。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
上下水道総務課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道施設課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
ロクハ浄水場【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
北山田浄水場【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
給排水課【水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道総務課【下水道事業】	0	0	0	0	0	0	
上下水道施設課【下水道事業】	0	0	0	0	0	0	
給排水課【下水道事業】	0	0	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

<p>【水道事業】 水道ビジョン、水道事業経営計画に基づき、中長期的な経営の健全性を保ちながら、浄水施設の更新や災害対策、経年管の更新に対する投資的経費に予算を重点的に配分しました。 日常的な浄水場の運転や維持管理については、安定的に水を供給するために必要な経費を見積りました。また、更新時期を迎えている、ロクハ浄水場から遠方監視を行うための装置について、IoTによる効率的な維持管理を行うことにより、将来の更新投資の抑制を図ります。 次期水道ビジョン、水道事業経営計画策定にかかる経費を計上しました。</p> <p>【下水道事業】 施設の維持管理については、流域下水道維持管理負担金が経費の大きな割合を占めており、大幅なコスト削減は難しい状況にありますが、経営の健全性を保ちながら必要経費を見積り、安全・安心に下水道をご利用いただけるよう、適切な維持管理に努めます。 次期下水道事業経営計画策定にかかる経費を計上しました。</p>
--